

会長挨拶



会長 濱本 浩邦

長崎県情報産業協会は、長崎県内の情報産業に携わる企業による非営利一般社団法人です。関係者の方々のご指導・ご支援に厚く感謝すると共に、会員の皆様の日頃のご協力に深く敬意を表します。

さて、私たち ICT 企業の社会における役割の重要性は、ますます高まってきており、あらゆる産業のイノベーションを牽引するキーマンとして欠くことのできない存在となっています。また、関わっているビジネスもあらゆる分野に拡がりを見せており、その技術も5Gに代表されるように急速に進歩しています。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響で、世界経済は大きな打撃を受けており、当分終息する気配はありません。日本は全国緊急事態宣言が5月下旬に解除されましたが、ワクチンが開発されない限り、感染第二波・三波が発生する可能性は否定できません。その状況下、在宅勤務(リモートワーク)が急拡大したのはICTの力です。

今後は、さらにICTの活用ニーズが高まり、コロナ以降の生活様式の変化に適した働き方や、ビジネスモデルが進化して行くものと考えます。

このような時代に対応できるICT人材の育成が、わたしたちの大切な使命です。

当協会は、地域の情報関連技術者の研修機関として、時代のニーズに合ったカリキュラムを毎年見直し、研修事業を企画・実施しております。併せて、活用可能な種々の助成金の適用を検証し、より安価な費用で受講できるようにその手続きについて支援いたします。

また、研修事業に加えて、ICTに関する情報提供や、会員企業の共通課題へも取り組んでいます。ICTに関する膨大な情報が氾濫する中で、会員の皆様が必要とする情報を取り上げて、ホームページやメールで、タイムリーにお届けすると共に「AI」、「IoT」、「情報セキュリティ」、「オープン・クラウド」、「ビッグデータ」といった最新のテーマにも積極的に取り組んでいます。

さらに、地域においてICT企業としてさらに成長していくために、会員企業間の協業を推進する目的で、オープンな人的交流の場として「ビジネスコラボ会」を定期的で開催しています。長崎県情報産業協会は、以上のような活動を通して、行政、学校、関連機関の皆様と連携しながら、時代をリードする ICT 企業の団体として、企業や社会の情報化を図り、地域経済の活性化に貢献を果たしたいと考えています。

今後とも、ご支援のほどよろしく願いいたします。

会長 濱本 浩邦